

power  
S R A B B  
C M E M L E

■ 沖縄の  
トレーニング場  
沖縄県、盛龍也

いつも、沖縄情報をお送りくださる、盛龍也さんから、自分がトレーニングをしている体育館が紹介されました、と、新聞を送って下さいました。

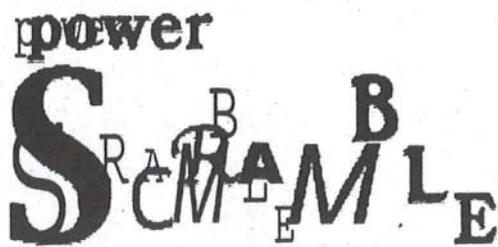
沖縄本島南部の東端に位置し、知念岬公園の中にあるのだそうで、トレーニング場だけではなく、パラグライダーが出来たり、オートキャンプ場があったり、トレーニングをした後は、広々とした青空の元、緑に囲まれ、とても、癒される環境にあるとのこと。また、この知念岬は、高台にあり、海が見下ろせ、日の出の絶好の名所にもなっているのだそうです。

沖縄のパワーリフティング協会の皆様は、地域の試合から、全国大会、国際大会まで、役所に報告に行ったり、新聞社への報告を豆にされたりしておられ、沖縄におけるパワーリフティングの地位は非常に高いものになっていると聞いています。沖縄のパワー協会の皆様に敬意を表します。

今月は、沖縄県民大会の結果を受け取り、記録欄に掲載させていただきました。

これからも沖縄情報を待っています。よろしく願いいたします。





# シロクマストーリー

報告：コマンドー金澤

天神橋筋の天ぶら屋さんの暖簾を潜って着席して、メニューは安井さんにお任せ。待ってる間も食べながらもパワーリフティングの話が尽きることがなかった。

自分もこの業界に来ていつの間にか20年ほどになりましたが、安井さんとの邂逅については全く記憶がない。デビュー2ヶ月で阪南大学で開催された全日本ノーギアベンチプレスに出場された模様。その後に宇都宮開催の全日本ノーギアパワーにも出場。この大会では自分も審判をしてたんで、ここからの記憶ははっきりしている。

安井「いや～コマンドーさん、この大会（宇都宮）前にジムで練習してて、岩崎先生から白なし、赤ぼっかりの判定もろてて、パワーリフティングって何や？って思ってん。ホンマあの大会のとき、コマンドーさんに赤つけてもろたとき、しゃがみを指摘されて、如何に自分が甘かったかと思ったんですわ」

金澤「いや～特別厳しくしたい訳やないんですけど、しゃがみの部分では、あと1センチぐらいってようありますんで。判定出しても何も気にせへん選手も居てるけど、安井くんは真剣に聞いてくれた」

安井「岩崎先生の持論やねんけど、情けをかけると成長しない。正しい判定を出すのは選手の為ってあるんです」

金澤「確かにその通りです。俺は審判してへんときは、試技にあんまり興味ないいうか見てへんことが多いんです。

訪問先のジムとかで試合形式で練習してはる選手に臨時的審判員として入ったときは、やっぱりきちんと判定出しますよ。全日本目指す人やったら当然やわ」

安井「ほんで、じんちゃん（兵庫県の陣内選手で、ノーギアでも滅法強い）から、数少ない重量級の選手の一人として何時までも切磋琢磨していこうなって言われてん」

近畿ブロックにはノーギアを売りにする重量級の選手で京都の川口さん、兵庫の遠藤さん、先述の陣内さんがおられる。今年の6月にはベラルーシで世界ノーギアパワーが開催予定で、安井さんは出場のコマンドー権利を獲得出来れば入賞目指して出場を希望されている。

美味しい天ぶらを食べ終わった後に、意地悪ではないが岩崎会長が安井さんにだけ特別厳しくされてるように感じてたことがあった時期があったらしいことを聞いた。本人も理由は解らない。師匠に訊ねてみたわけでもない。その話を聞いた事を安井さんに話してみた。

金澤「安井くん、それ・・・なんか思い当たるフシがあるねんけど・・・」

安井「なに？」

金澤「・・・いや、俺の思い違いやわ・・・」

安井「とりあえず、言うてよ」

金澤「岩崎会長って、プロレスにも詳しいやん？ あの・・・ほら、日本プロレス全盛期の時に、猪木さんと馬場さんが入門されたときの、力道山の指導の仕方がそれぞれに違った話があるねん。ジャイアンツでピッチャーやってた馬場さんは、恵まれた体格と天性のものがあって、どんどんチャンスを与えて開花するようになって、逆に猪木さんには下積みの苦労・・・そこから生まれる雑草の強さを期待したって話があるんや。俺の推察やけど、安井くんには、猪木さんの例を当てはめて指導されてたんやないやろかって思うんや。合うてるかは知らんで」

安井「う～～～ん鋭いな。当たってるかも」

# power SCRAMBLE

現在までそのことについてお伺いしてないので真相は解らない。もっと魂がこもったものがあるのは間違いない。事務所に戻った。話の続きを伺った。

シロクマジムを設立するにあたり、ハンコを作っておられる従兄弟に相談をもちかけた。ただ単に、どんなハンコがエエねんやろというだけであった。

ところが、こっちにおいでと呼ばれ経営をするには、これだけのものが必要やねんって名刺ホルダーの束を見せつけられた。

どうやら、この名刺の人物が毎週金曜日の早朝、大阪市内某所に集まり定例会を行ってるとのこと。

そこでは毎週順番に演説みたいなものを行うらしく、異業種の情報交換の場所となってる。つまり、定例会に出席する者みんなの利益を上げることが目標にされてることだろう。会員数は数百人とか……。

また、安井さんはシロクマスクールを立ち上げたときの経営理念として、「高齢者の為に社会貢献をしたい。躓かない、こけない、寝たきりにならない元気な心と身体作りのお手伝い」を挙げておられる。開業からの1年は、高齢者がついてきてくれるかどうか心配であったらしいが、安井さんが世界大会を目指していることもみんな知っておられ、究極の目的としては、

「何時かは終わる人生少しでも長く、家族に私の人生最高やったと言うて貰いたい。世界に行ってるシロクマ先生に指導してもらた」

という言葉が最高の名誉であろう。

二足のわらじが、どれだけ大変かは彼自身も多くの方に接して解ってる。指導者として実績も挙げたい。構想を練ってる頃であろうか？東北の大震災があった後、親友である兵庫県の大塚徳広さんと「な～えんちゃん、パワーリフターって一体何や？」

と素朴な疑問を語ったそうだ。

明確な回答は出ず、「こんな時こそ俺らが何か役立たんとあかんのやないやろか？」それから1年後に義援金を預かり、岩手県に乗り込み、岩手県で開催されたパワーの大会にオープン参加をし、預かった義援金を岩手県協会に無事におくった。その模様は遠藤さんからお聞きしたので当時から知ってた。

選手としては4年の空白期間があったものの、昨年、東海パワーで復帰した。

記録は、スクワット第1試技180キロ（肉離れ発生の為第2、第3試技は棄権）、ベンチプレス140、150、155キロ。デッドリフトは200キロ、220キロ、230キロ全て白旗の成功。記録に満足はしてないが、4年間の空白期間の条件下では納得。これは序盤戦で石川県パワーで本領を発揮する。この記録についてはバックナンバーを参照に。そしてスポーツマスターズ秋田が昨年の最終目標であった。

現在も世界大会を控えて指導の合間の僅かな時間を利用してトレーニングに励んでいる。

彼に最後に質問した。

金澤「こういう指導を売りにしたいっていうのある？」

安井「足から力を貰うということで、下半身のトレーニングの重要性を解って貰いたい。パーベルを担ぐ前に自重のスクワットから始めて貰う。うちの練習生は、こっそり『吉田 進のパワーリフティング入門』を読んでるらしいんですけど、パワーリフティングを勧めはしないが、本人の意思を尊重したいです。僕にとっては、合気道、正道空手の延長上がパワーやったんで、門を叩いてくれた人には、その人の役立てるものにしたい」

笑顔で語ってくれた。ジムの移転の最中に取材時間を沢山割いて頂き、本当に申し訳ない次第であるが、私的に会うことが今までに1度もなかったのが、取材時間は有効に使わせて頂いた。

また、取材を通さないと解らなかった部分も多々あったといっても過言ではない。

益々のご活躍に期待します。

power



**S**RAMBLE



power

**S** <sup>R</sup> <sup>A</sup> <sup>B</sup> <sup>B</sup> <sup>L</sup> <sup>E</sup>  
C M L M L E

---

power

**S** <sup>R</sup> <sup>B</sup> <sup>B</sup> <sup>A</sup> <sup>M</sup> <sup>L</sup> <sup>E</sup>  
SCRAMBLE

---



power

**S** <sup>R</sup> <sup>A</sup> <sup>B</sup> <sup>B</sup> <sup>L</sup> <sup>E</sup>  
C M L E

---

power

**S** <sup>R</sup> <sup>B</sup> <sup>B</sup>  
C M L M L E  
**SCRAMBLE**

---